

	<h2>長寿の秘訣は「立って歩いて描くこと」</h2> <p>～新百歳を迎える方に長寿のお祝い～</p>
と き	9月15日（火）
<p>区は、10日、米寿(88歳)・白寿(99歳)・100歳を迎える高齢者に祝品を贈呈した。</p> <p>この取り組みは、敬老の日にあわせて、長年にわたって社会に貢献してきたことに感謝し、そのご苦勞に対して長寿のお祝いをするもので、昭和55年から実施している。</p> <p>今年は、日本を代表する洋画家で、文化勲章を受章された練馬区名誉区民の野見山暁治さんが百歳を迎える。そこで、野見山さんに健康の秘訣や、年明けの生誕百年記念展に向けての意気込みを聞いた。</p> <p>また、今回の取り組みにあわせて、練馬区老人クラブ連合会の協力を得て、地域の中で元気に活動している高齢者を紹介するパネル展を初めて開催する。</p>	



▲野見山暁治さん

【野見山暁治さんからのメッセージ】

学生の頃に絵を立てて描く癖がついた。おのずから健康につながったと思われる。夕方はほぼ毎日、気分転換の目的で近くの石神井川のほとりを散歩する。若い頃からの習慣で、有効だったと思う。

年明けの生誕百年記念展では、年齢を記念して何かを行うといった思いより、年齢というのは私の意志とは無関係に流れているのだと考えているので、生きている間に近頃の作品を並べてみたいと思っている。

【区長のコメント】

百歳でいらして、この元気、この意欲、ただただ驚くばかりである。人の生き方について、これほど考えさせられる方はいない。立って歩いて描く、野見山さんの人生そのものが一つの芸術作品だと思う。

「生誕百年記念展」は、ぜひ、多くの皆様に見ていただきたい。

【敬老祝品の贈呈について】

米寿(88歳)・白寿(99歳)・100歳を迎える高齢者に対して、長寿をお祝いするとともに祝品(100歳以上の方、区内共通商品券2万円分)を贈呈している。

例年は地域の民生委員が祝品を直接贈呈するが、今年は新型コロナウイルスの影響により郵送に変更した。また、100歳を迎える高齢者一人を区長が訪問し祝品を贈呈していたが、中止とした。(昭和61年から)

【練馬区の高齢者人口等について(令和2年8月1日現在)】

- (1) 65歳以上高齢者：160,938人(人口比率 21.69%)
- (2) 米寿(88歳)：3,775人
- (3) 白寿(99歳)：280人
- (4) 100歳以上：511人

※(2)(3)(4)は、今年度迎える方の人数

【パネル展示について】

期間：10月19日（月）～10月23日（金） 午前11時30分～午後3時30分

場所：練馬区役所1階 アトリウム（豊玉北6-12-1）

内容：練馬区内の老人クラブの活動について区民に周知し、練馬区老人クラブ連合会の協力を得て、老人クラブ活動の紹介など、元気高齢者の活動を紹介するパネルや手作りの作品を展示する。

【参考】野見山 暁治（のみやま ぎょうじ） 略歴

大正9年(1920年)生まれ。日本の現代洋画界を代表する画家である。昭和27年に渡仏。「日本国際美術展」に出品するなど意欲的に活動し、昭和39年に帰国。平成15年に東京国立近代美術館で展覧会が開催されるなど、現在も日本美術界において大きな存在感を示されている。平成12年に文化功労者に選ばれ、26年には文化勲章を受章されている。

【問い合わせ】練馬区 高齢社会対策課 いきがい係 電話03-5984-4763